

9月 ようちえんだより

幼保連携型認定こども園

西神戸 Y M C A 幼稚園

今夏は連日、猛暑が続きましたが皆様いかがお過ごしでしたでしょうか？

ご家庭でも様々な工夫をして暑さを凌いで乗り切ったことと思います。

幼稚園の今夏のプレイクラブでも、外遊びは夕方のみ。プールでは、水温を下げる為に毎朝水を抜き新たに水を入れて調整をするなど、工夫して遊びました。

夏の始めは「パリオリンピック」が開催され、深夜の競技に目が離せず、つい寝不足になった方もおられるのではないのでしょうか。

8月8日には、宮崎県で震度6弱、マグニチュード7.1の地震が発生し、この地震を受けて気象庁が「南海トラフ地震臨時情報」を発表しました。翌日の8月9日にも神奈川県西部で震度5弱、マグニチュード5.3の地震も発生し多くの不安を感じる中で、スーパーには飲料水・米などの生活に欠かすことのできない食料品やその他の物資が品切れになる事態が生じました。また直近では勢力の強い台風10号が日本列島を脅かしました。地震や台風において被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

さて、お盆にお寺の法要に列席する機会がありました。お寺の説法で「無常」という言葉が心に残りました。仏教では「無常」とは“この世の中の一切のものは常に生滅流転して、永遠不変のものはない”ということの意味するそうです。「オリンピックに出場する選手はみんな金メダル獲得するのを願っている。しかし金メダルを獲得できるのはたった1人だけである。どんなに金メダル候補と言われていても、競技で敗戦すれば金メダルを逃してしまう。実際に敗戦して涙を流す選手の姿を私たちは目にしました。また、地震が起こり、人々は不安に苛まれています。世の中には“絶対に〇〇ない。”“絶対に〇〇ある。”という確信はなく“常でないこと”を認識して生きることを覚えなさい。」というお話でした。

聖書では創世記1章31節に～神はお造りになったすべてのものをご覧になった。見よ、それは極めて良かった。～とあります。神様がすべてのものをお造りになった後、おっしゃったお言葉です。「常でないこと」を受け入れることも「すべてよし」とするのも私たちには困難なことが多くあります。しかし多くの思いがけない出来事やありのままの現実を受け入れて生きていくことで真の強さが身につくのでは…と思います。年長余島キャンプも2泊3日の予定でしたが、台風の接近に伴い1泊2日で決行しました。2日目の帰着時間は「遅くなるけれど満喫して帰って来たい」という思いから18時30分を予定していました。しかし思いがけない事故渋滞に遭遇し帰着がさらに遅く19時30分となりました。子どもたちは大変疲れていましたし、だんだん暗くなる車窓の風景に不安になるかと思いきや、バスの中で歌ったり、おやつを食べたり、降車するまで元気そのものでした。「神様ありがとうございます。」と祈らずにはいられませんでした。どんな時でも神様を信じて、委ねて歩むことの大切さを教えてもらった気がします。さあ、2学期が始まります。月主題は「いっしょに」です。

みんな「いっしょに」手を取り合って楽しく歩んでまいりましょう！

【年主題】

『さあ、漕ぎ出そう 奏でよう』

【年主題聖句】

「わたしは道であり、真理であり、命である。」（ヨハネによる福音書14章6節）

9月主題 「いっしょに」

聖句 「主において常に喜びなさい。」（フィリピの信徒への手紙4章4節）